

運動好きな子どもの育成 ～タブレット端末の活用を通して～

大分県日田市立高瀬小学校

全校児童数	189名(男子10名 女子89名)		
全クラス数	9	教職員数	22名
体育専科教員訪問学校数			2校
訪問校	日田市立三芳小学校 日田市立咸宜小学校		
体育専科教員名		岩崎 敬	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆運動好きな子は多いが、運動嫌いの子が固定されてきている。

◆学年が上がるにつれて運動嫌いが増える傾向がある。

2 取組の計画

- ① 体育授業の充実
 - ・タブレット端末を使い、すべての子に学びの履歴を可視化させるとともに、一人ひとりの子どものつづやきを拾っていく
(ロイロノートで添削→指導案再考→授業→評価)
 - ・IT体制の充実(授業をしながらの体育情報の共有)
- ② 家庭との連携(家庭との連兼強化週間)
 - ・「家族上体起こし週間」の実施
 - ・タブレット端末の持ち帰りを活かした、保護者の授業参加
- ③ その他
 - ・情報発信(体育専科通信・学校HPに体育専科コーナーの設置)

Do：実践内容

1 体育授業の充実

- (1) タブレット端末の有効活用(ペーパーレス化・ロイロノートの活用)
 - 全てロイロノートで実施
 - ・めあての提示
 - ・学習活動の紹介(写真・動画・図)
 - ・学習活動(動画撮影あり)
 - ・振り返り(ロイロノートの提出箱)
動画の提出やハートメーター、コメント他
 - ・まとめ(画面共有他)
 - ・授業の検証と次の授業への工夫
- (2) 子どもたちの学びの流れを大切にしたい関わり方(引っ張って指導するところ、学びのファシリテーターになるところ)
 - ・学習課題や学習内容の可視化
 - ・チームの共有ノートを活用した、協働的かつ主体的に学習に向かえる環境づくり(反転授業の形成)

2 家庭との連携

- (1) 「家族上体起こし週間」の実施
 - ・五日分が記入できるプリントを配布する。
 - ・毎回家族の誰かが足を支えて計測していく。
 - ・記録とコメント記入し続ける。
 - ・学校に提出して評価をもらう。(シール付き)
- (2) タブレット端末持ち帰りを活かした、保護者への授業参加
 - ・授業で運動の様子を動画で撮影する。
(今年度は水泳と器械運動で実施)
 - ・自身で動画を見て感想を記入する。
 - ・持って帰り、保護者も動画を見て感想やコメントを記入する。
 - ・授業者がコメントを記入し、再度保護者に見てもらう。

2 その他

- (1) 学校ホームページから毎月の情報発信
- (2) オンライン(Zoom)研修やSNSを活用した全国の先生方との交流

●工夫したこと(&苦労した点)

- ① ロイロノートは使い方が無限にあり、未だにどのような活用の仕方が良いのか試行錯誤している。

Check：取組の成果

- ① 今まで受動的に体育授業に参加していた子の何名かが、より積極的に参加するようになってきた。

Action：今後の課題

- ① クラウド内に蓄積し続ける子どもたちの学びの履歴情報を、今後どのように活用することが有効なのか研修が必要である。
- ② アクティブチャイルドプログラムの導入で子どもたちの情意面の活性化や運動量の向上が確認できたが、授業での時間配分は検討しなければならない。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

体育授業のタブレット端末の導入により、授業に意欲的に参加する子どもが増えた。またチームに共有ノートを作ってあげたところ、帰宅後も子どもたちで作戦会議をするようになり、事前に予習してくる反転授業の回数が増えた。

学校ホームページ「体育専科の取り組み」



体育専科の取り組み

今日のめあて④

棒人間を作り、オリンピック選手と自分の違いを調べよう
(思考・判断・表現)

保護者の動画視聴による授業参加

自分の泳ぎの観察

感想や気付き

僕は、今日25メートル行ったしちょっと楽に泳げたしあまり疲れなかったのが良かったです。後いつも水着とか水泳バックとかを準備してくれてありがとう

おうちの方から

プールの授業を見る機会がないので、25メートル泳いでいる姿を見ることが出来て嬉しかったです。背泳ぎも出来ており、ビックリしました。体育は元々大好きな科目で、その中でもプールの授業は好きで今年はプールの授業が安全に楽しく出来て良かったと思います。ご指導ありがとうございました。

共有ノートを作ったの授業実践は愛好的態度の育成だけでなく

しつもんなど

いつからできますか？(何時から)

自由スペース

予習(準備)→授業の反転授業も生まれた

共有ノートのスクリーンショット